



2026年5月7日

各 位

会 社 名 株式会社 セキド
代表者名 代表取締役社長 関戸 正実
(コード番号 9878 東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員管理部長 弓削 英昭
(TEL. 03-6300-6335)

特別損失の計上及び2026年3月期通期業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2026年2月27日に公表した2026年3月期の通期業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失他）の計上について

店舗戦略の最適化に向け、店舗及び間接部門の共用資産について、回収可能額まで減損損失263百万円を計上した他、一部の店舗等について損失見積額26百万円を計上いたしました。

2. 業績予想値と実績値との差異について

2026年3月期個別業績予想数値と実績値との差異（2025年3月21日～2026年3月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,930	△607	△698	△834	△263.62
実績値(B)	5,758	△707	△794	△1,097	△398.65
増減額(B-A)	△172	△100	△96	△263	
増減率(%)	△2.9	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	7,494	△276	△329	△545	△267.69

2. 特別損失（減損損失）の計上と通期業績予想の修正の理由

2026年3月期通期の業績予想につきましては、売上高・利益ともに前回発表予想を下回る見込みとなりました。

売上高は、美容部門での大口の売上が翌期にずれ込んだことにより発生いたしました。営業利益、経常利益については商品評価損を保守的に見積もったこと、期末時点の株主を対象とする株主優待の見込値が増加したことなどによるものであります。当期純利益については、経常利益の差額に上記「1. 特別損失（減損損失他）の計上について」に記載のとおり、店舗及び間接部門の共用資産について、回収可能額まで減損損失を計上したこと、店舗戦略の最適化に向け、一部の店舗等についての損失見積りを計上したことによります。

以 上

※本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。